

## 委員および一般からのご意見

委員からの流域委員会の審議に関する意見、指摘

2003/03/27

谷田委員（環境・利用部会 / 自然環境班）

---

< 環境・利用部会の運営について >

環境・利用の全体部会が必要でしょうか？まずはサブ・グループでしっかりと議論することが肝要では。

2003/03/31

水山委員（治水部会）

---

「提言」は、河川管理のある意味で理想を述べている。したがって、全てを計画に盛り込む事には無理がある。整備計画では、30年後？にどのような姿の河川を目指すのか（目標）を示し、国土交通省として出来る事の計画を示すべき。現行法律上問題のあるもの、他省庁との調整が必要があるものは区別して示す。予算その他の制約の前提を示して計画を議論する。その結果として、治水では、堤防、ダム、その他の対策の組み合わせが決まってくる。期限付きでダムを建設、使用し将来撤去することもありうる。そのようなダムの形式も考えるべき。

超過洪水の議論は、目標のところで整理する。

「提言」からスタートして「整備計画」に反映されているかという現在の委員会の方法は適当でない。「整備計画」の具体的提示が先。

2003/04/09

渡辺委員（環境・利用部会 / 利用班）

---

（ダムのあり方）に関して

3月12日の朝日新聞の朝刊の紙面で、「国土交通省は淀川流域委員会の提言を踏まえ、整備計画を7月ごろまでにまとめる予定」とあり、その中で村井河川調査官は「提言は真摯に受け止めるが『脱ダム』ではなく、あくまで制限であって、必要なダムはある。」と発言されていますが、流域委員会の提言の内容は確かに『脱ダム』ではありませんが、「必要なダムはある」とは、将来的に一般論として言われたのか、それとも現在計画中、進行中のダムを指して言われたのか、お尋ねいたします。

一般からの流域委員会へのご意見、ご指摘（2003/3/26～2003/4/9）

前回の委員会までに358件のご意見を掲載しました。それ以降、3件のご意見が寄せられました。

	発言者 所属等	受取日	内 容
359	阪神大震災の教訓を 忘れず、市民のため の防災のあり方を考 える会 代表 志岐常正氏	03/03/27	淀川工事事務所（現淀川河川事務所）、琵琶湖工事事務所（現琵琶湖河川事務所）あてに出された「天ヶ瀬ダム再開発事業」が委員会にも寄せられました。 別紙 P.359-1 を参照下さい。
360	前田益見氏	03/03/29	淀川水系流域委員会についておたずねが寄せられました。 別紙 P.360-1 を参照下さい。
361	関西のダムと水道を 考える会 野村東洋夫氏	03/03/30	尼崎市営工業用水道の阪神水道への転用についてご意見が寄せられました。 別紙 P.361-1 を参照下さい。